

2023年度 第7回 学校運営協議会会議録

学校名 杉森中学校

記録者 福島聡

開催日時 2024年1月22日(月) 16:00～17:30

開催場所 杉森中学校 北校舎2階会議室

出席者(委員) 岡田会長、佐々木校長、村上職務代行、朝枝委員、小川委員、狩野委員、  
佐久間委員、西野委員、福島委員、三箇山委員 (欠席) 国藤委員

出席者(学校) 河村教務主任

傍聴者人数 0名

会議内容(次第順)

1、来年度の教育課程(案)について(河村教務主任)

2、会長あいさつ

きょうも活発な議論をしていきたい。

3、校長あいさつ

2年生の菅平での移動教室では、最初は全くスキーを滑れなかった生徒ができるようになっていく過程を見ることができた。1年生はこれから鎌倉での校外学習、3年生は受験が本格化する。

4、議事録確認

5、部活の3校合同活動について

主な意見

1、来年度の教育課程と不登校生徒の居場所

学校より

2月の協議会で教育課程の具体案を見てもらい、3月の協議会で承認をいただきたい。学習者主体の授業づくりを進め、さまざまな場面でタブレットの効果的活用をしたい。個に応じた学びに使っていく。時代の先端を行って頑張っていきたい。子どもの意見を取り入れた学校づくりでは、校則の見直しを進めている。生活指導と教育活動の一体的充実という点では、不登校生徒の居場所づくりとして「杉森ルーム」を3学期から始めている。杉森ルームは週1回、学校支援本部の方が対応し、そこに生徒が来るという形。まずは学校に来るところから。来年度は予算が通れば週2回になる。

CS委員

・能登半島地震が起き、パレスチナ、ウクライナの問題も継続してある。こうした話題を話し合うような時間はあるのか。

・社会に出てから、学校で学んだことが「ああこういうふうにつながっているのか」と気づ

くことがある。学校で学ぶ内容と、社会で起きている出来事が連結していると考えることができるようになると思う。受験のためだけではないと感じ、勉強する意欲も湧くだろう。

学校より

そのような時事的な話題を持ち込みやすいのは道徳や総合的な学習の時間だが、準備にかなり時間がかかる。紛争、戦争は歴史的背景や双方の主張があり、それを中学生に理解させるとなるとなかなか難しい。ただ、大事なことと思うので工夫はしたい。

C S 委員

- ・各校の支援本部が交流する場で、ボランティアを募って、不登校や保健室登校の生徒の居場所となるようなスペースを校内に定期的に設けている例が報告されていた。
- ・週1回でも、週2回でもいいから、そうした場が設けられることはいいと思う。

## 2、部活の3校合同活動

学校より

12月の保護者会で教育委員会から説明があった。2月新入生保護者説明会で来年度の新入生向けの説明がある。4月に入学する新1年生が2年生になり、3年生から引き継いで部活の中心になった後、移行する予定。杉森中、高南中、高円寺学園の3校で拠点校方式にする。硬式テニスは杉森、野球は高円寺学園、サッカーは高南といったようにして、民間の指導者に来てもらう。生徒にとってはプロの指導を受けられ、教員にとっては働き方改革につながることになる。活動場所の学校には自転車で移動する。

C S 委員

- ・合同で活動すると言っても、学校によって試験期間が異なる。授業が終わる時間も必ずしも同じではない。交通量の多い環状7号線を越えて自転車で移動することも心配だ。
- ・部活に通う生徒たちが、環七、青梅街道を越えて自転車で行き来しなければならない様な学校の組み合わせは心配だ。移動に伴うリスクを最小限にしないといけない。これから入学してくる生徒たちの学校選択にも影響を与える等。生徒たちの中学校生活に幅広い影響を与えることも考えられる。部活の合同活動を進めるならば、異動の際の安全確保、生徒の幅広い関心に応える体制の確保等、十分な準備が必要とされる。
- ・恐らく部活動をする生徒が減るだろう。
- ・リスクやメリット、デメリットをきちんと伝えていくことが大事だ。

次回の会議日程

日時 2月6日(火) 16:00～ 教育課程・学校経営計画、生徒会役員との交流

会場 杉森中学校